

尾瀬高校同窓会報

H.30.3.1

36



編集発行人 井上隆至

群馬県沼田市利根町平川1406
群馬県立尾瀬高等学校同窓会
☎378-0301 ☎0278(56)2310印刷所
コトブキ印刷

同窓会報発刊にあたり

同窓会長 井上隆至



同窓会報第36号の発刊にあたりごあいさつを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。併せて、常日頃から同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本校は、昭和37年に群馬県立沼田高等学校武尊分校として開校、昭和43年に群馬県立武尊高等学校として独立。更に平成8年に群馬県立尾瀬高等学校と校名が変更となるなど幾多の変遷を経て現在に至っております。卒業生は、平成30年3月の卒業生53人を含め5,376人となり、全員が同窓会に入会されています。同窓会員の皆様が社会でご活躍されている事は、母校の誇りであり、大変喜ばしく思います。

29年2月に第66回全国高校スキー大会(インターハイ)が片品村を会場として開催され、北海道から鹿児島まで41都道府県の選手や指導者ら1400人が参加しました。

本校の生徒は、競技出場選手は勿論のこと開会式、閉会式の運営や競技運営補助委員として参加し、大会の成功に寄与しました。生徒達の心遣いや礼儀正しい対応に関係者から好評を頂きました。これも偏に学校生活における教職員のご指導の賜物と考えております。

29年度は、同窓会総会を7月に開催し一年間の事業計画等を決めさせて頂きました。総会終了後、同窓会員と在校生及び教職員とのバーベキューを行いながらの交流会を実施しました。多くの皆様にご出席を頂きました事と在校生による部活ごとの澁刺とした発表があるなど有意義な交流会となりました。今後も、同窓会総会へのご出席をお願いすると共に頑張っている在校生の姿を見て頂ければ幸いです。

昨年は、桐生祥秀選手が日本学生対校選手権100

メートルで9秒98の日本記録を樹立し、日本人で初めて「10秒の壁」を破りました。又、史上最年少棋士の藤井聡太四段は、プロデビュー以来、30年ぶりの新記録となる29連勝を達成しました。他にも若手アスリートの活躍で2020東京オリンピックへの関心が高まる一年であったと思います。今年も明るいニュースが多くある一年になることを願っています。

おわりに、会報発刊にあたりご寄稿頂きました皆様をはじめご尽力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。併せて会員皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げましてあいさつと致します。

人と自然と地域と共に

校長 小林由隆



同窓生の皆様には、平素より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も「人と自然と地域と共に」を合い言葉に、自然豊かなこの地を舞台に多くの方々(地域の方、同窓生)とふれあいながら生徒達を育成してきました。その取組は、ホームページにて日々紹介しています。是非ご覧下さい。

今年度は、4月の開校記念式典において昭和46年卒で片品村出身の梅津夏代さんと利根町在住の星野令子さんに歌やピアノを交えた心温まる講演をしていただきました。いつまでも夢を持ち努力することの大切さ、素晴らしさを教えていただき、生徒達は多くの感銘を受けたようです。梅津さんからは本校の魅力を表現した絵を寄贈いただき、玄関に飾りました。現在ポスターやファイル、しおりにして広報に活用しています。また7月の同窓会総会では、会議後に在校生との交流を兼ねてバーベキュー大会を開催いただき、50名を超える生徒、25名を超える幅広い世代の同窓生が参加し、多くの同窓生に支

えられている事を生徒達も実感できました。

尚、今年の4月には昭和49年卒の羽鳥信之さんにご講演を依頼しました。是非お誘い合わせの上ご参加下さい。

在校生の活動では理科部、吹奏楽部、茶華道部が積極的に地域に出かけましたが、その折には温かい声を掛けていただきありがとうございます。特に理科部は、8月に行われた尾瀬サミットにおいて、三県の知事をはじめとする多くの方々に対し、本校のこれまでの活動の成果を発表する機会を得て、生徒にとり大きな自信となりました。

運動部では5月の県総体で今年度創部した女子卓球部がいきなりダブルスベスト8入賞、8月のインターハイにおいて弓道部女子個人競技で6位入賞、続いて10月の群馬県新人大会で男子個人優勝、1月の関東高校スキー大会で男子クロスカントリー個人優勝に輝くなど活躍しました。その際には同窓会からの激励の横断幕や備品の整備など、多大なるご支援をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

今年度末の53名を加え、卒業生が5,376名となりました。現在は普通科、自然環境科各32名の計64名の定員であります。小さいからこそ一人一人に目が行き届き、輝くことの出来る指導を行っております。その方策の一つとして、在校生が尾瀬高校に、この地域に自信と愛着を持てる取組を積極的に行っています。是非母校のこれからの活動に引き続きご支援ご協力をお願い致します。

最後になりますが、井上同窓会長をはじめとする同窓会本部役員の方々には、深甚なるお力添えをいただき誠にありがとうございました。引き続きご助言ご声援をいただければ幸いです。

高校時代を振り返って

平成24年度卒業生 佐々木 友徳

尾瀬高校を卒業して5年が経った今、私は地元である片品村で仕事をしています。5年前の私は片品村に帰ってきて働いている自分の姿を想像していませんでした。仕事の関係で、先日行われた尾瀬高校文化祭に出展者として参加させて頂きました。5年ぶりの学び舎、お世話になった恩師、明るく元気な生

徒を見て私も高校時代に戻ったような不思議な感覚と思い出がよみがえってきました。

私が高校時代で一番思い出にあるものは、主将を務めた野球部です。今でも最後の大会の記憶は鮮明に覚えています。様々な思い出や経験をさせていただいた野球部ですが、そのなかでも主将を務めた一年間は私の中で大切な思い出として残っています。

私が主将を務める前野球部では退部していく選手が数人いました。ただでさえ、人数の少ない野球部です。数人の選手が退部することは、チームへの大打撃となりました。その中で、私は主将を務めることとなりました。慣れない主将としての務め、後輩にはどのように指示を出せば良いのか、退部していく選手を見てモチベーションの下がっている選手をどのように盛り上げれば良いのか、どうすれば勝てるのか、悩む毎日でした。そんな私を支えてくれたのが、野球部の同級生や先生でした。私が悩んでいるときは一緒に悩み、何か踏み出せない一歩があるときは後押しをしてくれました。そんな支えがあり、チームは一つになっていくことが出来たと感じています。

今でも忘れない最後の大会一回戦。対戦高校は安中総合学園高校でした。実力は拮抗していました。3回に1-1の同点となり、5回に無死一塁となり同級生であった狩野が二塁打を打ち2-1となりました。6回に1点を返され同点となり、7回ではエースの狩野が足をつってしまい続投が出来なくなりました。場面はワンアウト満塁でした。私は遊撃手から投手に交代しエースの後を託されました。1点を取られ2-3となり逆転されました。ですが、尾瀬高校の選手は誰一人諦めていませんでした。8回、先頭打者は私でした。流れは相手チームにいつている。今までの練習や、選手たちとの思い出がフラッシュバックしました。バットを握りしめ今までの思いをこの打席でぶつけました。打球は左前打でした。チャンスを作り、後の選手に託しました。ヒットが2本続き2点を返し逆転しました。残りの9回を抑えれば勝利。私はマウンドにたち最終回を0点で抑え尾瀬高校は勝利しました。人数も少なく、他の部活から助っ人を借りなければ大会にでられない厳しい状況の中で手にしたこの1勝は私の中で宝物です。

どこの高校でも野球や、勉強は出来ます。しかし、この貴重な3年間を尾瀬高校で過ごすことができ友達、後輩、先生に出会えたことを感謝しています。これから生きていく中で様々な経験をしていくと思

います。その中でも尾瀬高校で過ごしたこの3年間は私に諦めないことと、どんなことでも挑戦することの大切さを教えてくれました。尾瀬高校は生徒一人一人に対して全力でサポートしてくれます。今、尾瀬高校に通っている生徒、これから尾瀬高校を選んで入学する生徒にも全力でサポートしてくれると思います。ですから、生徒には厳しい状況の中でも諦めず挑戦し続けて欲しいと思います。これからも誇れる尾瀬高校であるよう願っています。

高校時代を振り返って

平成25年度卒業生 大嶋克海

大学卒業を目前にして今、高校時代を振り返っていることが不思議でありませんが、意外と鮮明に覚えているもので驚いています。いざ振り返ってみると、私の高校生活はとても新鮮で、濃い日々の連続だったと感じます。私にとって尾瀬高校時代は無くてはならないものであり、自身が大きく変わった、まさに人生の転機のようなものでした。

尾瀬高校では、私の自然に対する感覚をより一層研ぎ澄ますことができました。私は自然環境科、そして理科部に所属していました。活動は主に自然と関わることで、観察や調査、研究を行っていました。それらを行う上では、物事のより細部に目を向け、必要な知識をつけ、考察することが必要です。3年間こういった活動を続けることにより、普通の人の目に留まらない自然現象に気づくことができる「視野」をもつことができるようになりました。例えば、森を10秒間歩いただけで、私はいくつもの楽しさを見つけられると思います。こういった感覚的要素は、私が現在専攻している生態学の中ではとても重要であり、目の付け所や、第六感が研究をする上でのヒントになることが多々あります。尾瀬高校での取り組みの中で少なからずそれらを身につけることができたおかげで、現在大学での研究活動において、目を向けることができる範囲や自身が活動できる分野の幅、モチベーションが確実に大きくなったと思います。

尾瀬高校では特に、自分の好きなことを好きにだけやらせていただけたような気がします。理科部の活動では、私はやりたいことがたくさんあり、様々な物事に対して貪欲だったと思います。しかし、そ

れらを制限されているような感覚はほとんどありませんでした。理科部の活動は内容が豊富で自由度も高く、私の希望を満たすには十分でした。私以外の部員も、自身が一番やりがいを感じている所で各々積極的に活動しており、個々がしっかり生きていたと思います。こうして個々が意欲的に活動できていたのは、陰で支えてくれた先生方のおかげでした。当時はそこまで頭が回らなかったのですが、今理科部の活動と同じことを自力でするとなるとかなり大変だと思います。先生方の手厚いサポートがあって初めて、私たちが良い意味で好き放題できていたということを、大人になって今更ながら気づかされています。

また、高校三年生の時、私はわがままを言って大学の一般入試を受けさせてもらいました。その際、右も左も分からなかった私を、担任の先生や補習をお願いした先生がかなり親身になって助けてくれました。時には先生が私に勝るほど真剣でいてくれて、悩んでくれて、喜んでくれて、私と一緒に戦ってくれたことを今でもとてもよく覚えています。校内で出会う先生方も、私とすれ違うたびに気にかけてくれました。クラスの皆も私のために静かな環境づくりを日ごろから心掛けてくれ、試験前には激励のサプライズまでしてくれました。そういった皆さんのおかげで試験も無事成功し、遂に第一志望に合格することができました。自分のような生徒一人のためにこんなにもたくさんの時間と労力をかけてくれる先生、気にかけてくれる友達で溢れている学校を私は知りません。この経験は、尾瀬高校の良い所に触れることができた瞬間だったと思っています。今の進路は、他のどの学校でもなく尾瀬高校だから実現できたものだと、声を大にして言える自信が私にはあります。

尾瀬高校で3年間過ごしてみて、「尾瀬高校は精一杯頑張る人に対して、精一杯のサポートをしてくれる学校です。」と卒業生の方々が堂々と言える理由が分かりました。在校時にはまだ実感が沸かないかもしれませんが、尾瀬高校は実は様々な面でかなり恵まれた環境であったりします。しかし、それを生かすも殺すも自分次第です。ぜひ自分にとって頑張れる「何か」を尾瀬高校で見つけて、今後の尾瀬校生に充実した高校生活を送ってもらいたいと思っています。

平成29年度 事業報告

年 月 日	行 事
29. 7. 15	同窓会総会および交流会
30. 1. 19	同窓会・PTA・活性化委員会・ 合同新年会 於 民宿みやま
30. 3. 1	同窓会報発刊

同 窓 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第1条 本会は群馬県立尾瀬高等学校同窓会と称する。事務局は同校内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために下の事業を行う。
- 1 母校発展に寄与する事項
 - 2 会員親睦に関する事項
 - 3 その他必要と認める事項
- 第4条 本会会員は、転居その他一身上の都合で異動したとき本会に報告する。

第 2 章 会 員

- 第5条 本会会員は、県立沼田高等学校武尊分校卒業生、県立武尊高等学校卒業生及び県立尾瀬高等学校卒業生をもって組織する。
- 第6条 本校現在の職員は、特別会員となる。但し、退職後会長の特別推薦により特別会員となることができる。
- 第7条 本校の会員たる本分を失ったときは、役員協議のうえ除名することができる。

第 3 章 役員及び会員

- 第8条 本会は下の役員を置く。任期は3年とし、再選を妨げない。
- 1 会 長 1名
 - 2 副会長 4名
 - 3 書 記 2名
 - 4 会 計 2名
 - 5 支部長・副支部長（各支部別、1名ずつ）
 - 6 期別幹事（卒業年度別若干名）

- 7 監 査 2名
- 8 校内幹事（若干名）
- 9 顧 問

第9条 会長は本会を代表し会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその任を代行する。支部長・副支部長は各支部より選び、合議において会務にあたる。期別幹事は卒業年度別に選び、会務にあたる。監査は会計を監査し、総会において報告する。校内幹事は母校教職員より選び、会務を処理する。顧問は会長の諮問に答えるものとする。各役員は会長がこれを委嘱する。

第10条 毎年1回総会を開くものとする。

第 4 章 会 計

- 第11条 本会の経費は、会員の会費及びその他の収入を以てする。
- 第12条 本会の入会金は7,400円とし、卒業時に納入するものとする。
- 第13条 本会の永年会費は5,500円を納入し、蓄積して本会基本金とする。
- 第14条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

- 第15条 本会則に定めなき事項については、役員会の決により会長の承認を以て定める。
- 第16条 慶弔については、別途定める。
- 第17条 本会則は昭和43年9月5日より実施する。

- 昭和50年 4月より入会金1,000円に改正
- 昭和53年 4月より会費（年額）1,440円に改正
- 昭和54年 6月20日会則一部改正
- 昭和62年 6月14日会則一部改正
- 平成元年 6月10日会則一部改正
- 平成6年 5月25日会則一部改正
- 平成8年 5月21日会則一部改正
- 平成9年 6月17日会則一部改正、第12条は平成12年度より適用する。
- 平成16年 6月22日会則一部改正

平成29年度 部活動・検定等報告

部/同好会/検定	大会名&結果		
野 球	春季大会 2回戦 1-3 館林	夏季大会 2回戦 1-8 東農大二	秋季大会 2回戦 1-11 伊勢崎興陽
ス キ ー	県高校スキー選手権大会 (女子) クラシカル 5位 太田 舞 6位 入澤華音 フリー 4位 太田 舞 6位 入澤華音 (男子) 大回転 7位 星野壘飛 12位 星野巨鷹 回転 6位 星野壘飛 10位 星野巨鷹 クラシカル 4位 鎗木 光 9位 金子智哉 10位 高橋海斗 11位 佐藤一太 フリー 優勝 鎗木 光 9位 金子智哉 10位 高橋海斗 11位 佐藤一太	県高校総体スキー大会 (女子) クラシカル 5位 太田 舞 6位 入澤華音 フリー 5位 太田 舞 6位 入澤華音 (男子) 大回転 6位 星野壘飛 10位 星野巨鷹 回転 6位 星野壘飛 8位 星野巨鷹 クラシカル 5位 鎗木 光 9位 金子智哉 10位 高橋海斗 11位 佐藤一太 フリー 4位 鎗木 光 9位 金子智哉 10位 高橋海斗 11位 佐藤一太 リレー 優勝 学校対抗 3位 13点	第53回関東高校スキー大会 (女子) フリー 3位 太田 舞 8位 入澤華音 クラシカル 6位 太田 舞 7位 入澤華音 学校対抗 3位 20点 (男子) 大回転 14位 星野壘飛 66位 星野巨鷹 回転 23位 星野壘飛 2df 星野巨鷹 フリー 優勝 鎗木 光 12位 金子智哉 25位 高橋海斗 32位 佐藤一太 クラシカル 4位 鎗木 光 14位 金子智哉 16位 高橋海斗 リレー 2位 学校対抗 4位 27点
	第67回全国高等学校スキー大会(岐阜県郡上市) (女子) 106名参加 フリー 69位 太田 舞 92位 入澤華音 クラシカル 70位 太田 舞 87位 入澤華音	(男子) 177名参加 フリー 30位 鎗木 光 クラシカル 47位 鎗木 光 リレー 29位 尾瀬高校 (鎗木 金子 高橋 佐藤)	
ソフトテニス(男子)	高校総体 2回戦 0-3 太田工業	インターハイ予選 2回戦 0-3 渋川	新人大会 2回戦 0-2 沼田
ソフトテニス(女子)	高校総体 1回戦 1-2 利根商	インターハイ予選 1回戦 1-2 桐商	
サッカー	高校総体 1回戦 0-13 太田東	インターハイ予選 1回戦 0-18 高崎工業 選手権予選 1回戦 0-42 新島学園	新人大会 1回戦 0-15 渋川 (榛名・大間々と合同チーム)
バレーボール	高校総体 1回戦 0-2 桐生西 インターハイ予選 1回戦 0-2 前橋南	北毛地区大会 1回戦 0-2 渋女 春高バレー県予選 1回戦 2-0 新田暁 2回戦 0-2 共愛	新人大会 1回戦 2-1 中央中等 2回戦 0-2 常磐
バスケットボール	高校総体 1回戦 67-21 長野原 2回戦 24-97 高商 インターハイ予選 1回戦 48-86 大泉	WINTERCUP 県1次予選 1回戦 34-108 清明 北毛地区大会(男子) 1回戦 43-119 青翠 2回戦 42-95 中之条	新人戦 1回戦 52-85 藤岡工業
卓 球	高校総体 団体 2回戦 1-3 前東 ダブルス 倉田瑠美・星野舞納 ベスト8	インターハイ予選 団体 3回戦 0-3 吾妻 ベスト16 シングルス 星野舞納 ベスト32 ダブルス 倉田瑠美・星野舞納 ベスト8 全国高校卓球選手権大会・県二次予選会 シングルス 星野舞納 ベスト16	新人戦 団体 2回戦 1-3 前東
弓 道(男子)	高校総体 団体 ベスト16 インターハイ予選 団体 予選敗退 個人 ベスト8 星野航哉	茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 個人 準優勝 林右京 個人 第12位 星野航哉 北毛地区大会 団体 準優勝 個人 第5位 星優一郎	新人大会 団体 ベスト16 個人 優勝 林右京(全国選抜大会群馬県代表) 全国高校選抜決勝進出 東日本県予選 団体 予選敗退

弓道 (女子)	高校総体 団体 ベスト16 関東地域各都県強化指定校 錬成春季大会(茨城県) 団体 準優勝 インターハイ予選 団体 予選敗退 個人 準優勝 千明未歩(インターハイ群馬県代表)	関東個人選手権県予選 第4位 千明未歩 (関東個人選手権群馬県代表) 全国高校総体(宮城県) 個人の部 第6位 千明未歩 関東個人選手権(東京都) 決勝進出(ベスト16) 千明未歩	茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 個人 第5位 福井藍月 個人 第8位 千明未歩 北毛地区大会 団体 予選敗退 新人大会 団体 予選敗退 東日本県予選 団体 第4位
理科	第65回群馬県理科研究発表会 高等学校の部(化学) 自然科学専門部長賞 大気および周辺環境条件による窒素酸化物を指標とした水質汚染状況の調査 高等学校の部(生物) 審査委員奨励賞 武尊山の野鳥分布(2015年から2017年までのまとめ) 高等学校の部(生物) 優秀賞 武尊山「水源の森」自然林調査 第18報(ネズミ調査2017) 尾瀬ヶ原におけるニホンジカ調査報告2017 (尾瀬高校の定例調査データと各調査団体のデータと比べて) 高等学校の部(ポスター) 優秀賞 群馬県内の山間部および平野部における地表性甲虫の分布に関する調査研究 尾瀬国立公園大清水湿原の復元に向けて 群馬県内の温泉の泉質と生息する温泉微生物の関係について 第64回日本生態学会大会 高校生ポスター発表 武尊山麓およびその周辺地域における地表徘徊性甲虫調査 尾瀬国立公園大清水湿原復元に向けて 日本温泉科学会第70回大会 群馬県内の温泉の泉質と生息する微生物の関係について 第10回群馬銀行環境財団教育賞 優秀賞「尾瀬におけるニホンジカ調査」		
吹奏楽	第59回群馬県吹奏楽コンクール 高校Bの部 銅賞 第21回ボランティア・スピリット・アワード ボランティア・スピリット賞 柳波まつり街かどコンサート NOTTN フェス 尾瀬市場感謝祭 武尊山レンゲツツジまつり ごったくまつり 風の祭り 利根沼田地区五校祭 北毛地区吹奏楽祭 平川神社祭 沼田議会(こども議会) (その他年間約40回の演奏活動を実施)		
商研	群馬県高等学校商業競技大会電卓競技 出場 高校生ビジネスプラングランプリ ベスト100 第10回熱血!高校生販売甲子園 出場		
茶華道部	環境ボランティア 桜花苑でのお呈茶会 夏祭り 農産物 かたしなやでのお茶会		
英検	準2級(5名) / 3級(1名) ※29年度第1回、第2回結果		
漢検	2級(4名) / 準2級(3名) / 3級(3名) / 4級(1名) ※29年度第1回、第2回結果		
商検	全商珠算電卓実務検定1級(13名) / 全商ビジネス文書実務検定1級(2名) 全商情報処理検定1級(1名) / 全商簿記実務検定試験1級(1名)		
家庭科検定	第45回全国高等学校家庭科食物調理技術検定4級(39名) / 3級(18名) 第45回全国高等学校家庭科被服製作技術検定4級(42名) 第46回全国高等学校家庭科食物調理技術検定3級(3名) 第46回全国高等学校家庭科被服製作技術検定3級(2名) 第34回全国高等学校家庭科保育技術検定4級(1名)		
JRC	利根沼田地区高校JRCによる地区清掃 利根沼田地区青少年赤十字トレーニングセンター「手話講座」 歳末たすけあい募金街頭募金運動		
家庭クラブ	あずま袋の製作 施設への配布 エコキャップの回収 486,760個(ポリオワクチン 283人分)		
G-necクラブ	高校生ボランティア・アワード2017「ネイチャークラブと尾瀬ニホンジカ調査 それぞれの15年」(理科部と合同)		
その他	「群馬県高校対抗税金クイズ大会」出場 「第9回群馬県小中高生新聞感想文コンクール」高校の部入選 金子智哉 「わがまちCMコンテストぐんま大会2017」風景部門 奨励賞「おいでよ!沼田」朝倉早也輝ほか 「第18回高校生国際美術展」感謝状 酒井菜々美		